

# 2024年9月期連結決算

---

**MRI** 三菱総合研究所

2024年10月31日

**1** 2024年9月期決算

**2** 2025年9月期業績予想

**3** トピックス

## 2024年9月期 連結決算のまとめ

- TTC前期大型案件のはく落・縮小(外部委託費等減少含む)影響に加え、ITS金融・カード分野の大型案件減少等により減収
- 減収影響、成長投資等により経常減益(⇒P5)
- 業績予想修正後の売上計上の期ズレ(TTC)、一部案件の追加コスト(ITS)等により予想比下振れ

	実績	前期比
売上高	1,153億円	△67億円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC):外部委託費等(△69億)影響除き実質増収</li> <li>● ITサービス(ITS):金融・カード分野の大型システム案件等減少</li> </ul>	
経常利益	81億円	△18億円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TTC:人材投資や将来成長のための先行投資等に伴い減益(⇒P6)</li> <li>● ITS:大型案件縮小、先行投資等により減益(⇒P7)</li> </ul>	
純利益	50億円	△12億円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経常減益の一方、政策保有株式売却により一部打ち返し</li> </ul>	

※計数はすべて概数、表示金額未満切り捨て

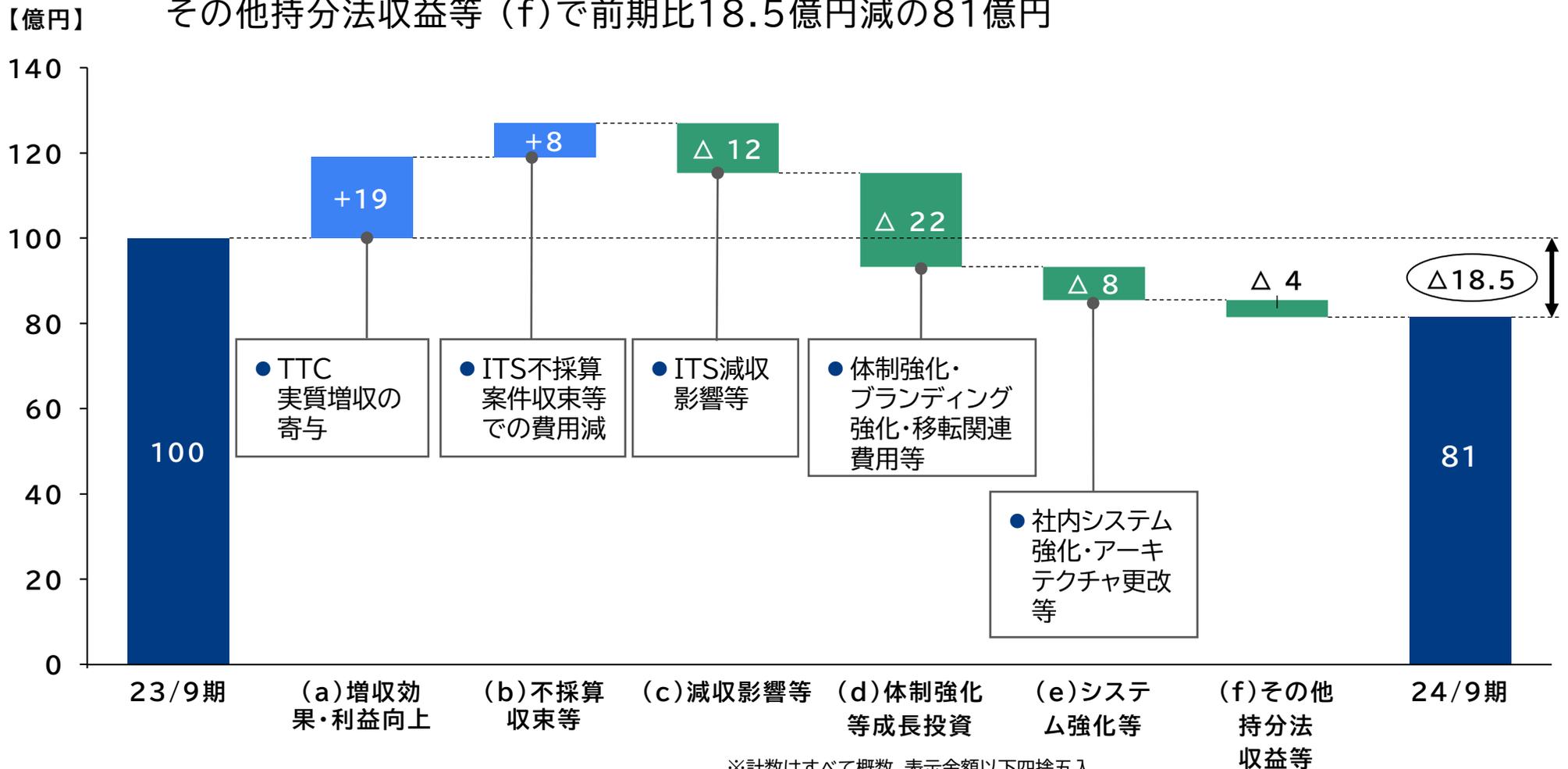
## 2024年9月期 連結決算 <前期比>

【百万円】

	2023年 9月期	2024年 9月期	前期比		公表予想 2024/7/30	公表 予想比
			増減額	増減率		
売上高	122,126	115,362	△6,763	△5.5%	116,000	△637
売上総利益	25,984	25,419	△564	△2.2%	—	—
売上総利益率	21.3%	22.0%	+0.7P		—	—
販売費及び一般管理費	17,295	18,358	+1,063	+6.1%	—	—
営業利益	8,688	7,060	△1,627	△18.7%	7,500	△439
営業利益率	7.1%	6.1%	△1.0P		6.5%	△0.4P
経常利益	10,002	8,147	△1,855	△18.5%	8,800	△652
親会社株主に帰属する当期純利益	6,287	5,003	△1,284	△20.4%	5,200	△196
1株当たり当期純利益(円)	392.27	316.44	△75.83		328.88	△12.44
ROE(自己資本利益率)	9.8%	7.5%	△2.3P		—	—

## 経常利益の変動要因 <前期比>

- 23/9期経常利益100億に対し、TTCの実質増収・利益率改善(a)、
- ITS不採算案件収束等に伴う費用減(b)の一方、
- ITS減収影響等(c)、期初計画で想定した体制強化等(d)のほか、システム強化等(e)、その他持分法収益等(f)で前期比18.5億円減の81億円



※計数はすべて概数、表示金額以下四捨五入

# シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)

【百万円】

	2023年9月期	2024年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	50,462	45,419	△5,042	△10.0%
営業利益	3,443	3,402	△40	△1.2%
営業利益率	6.8%	7.5%	+0.7P	
経常利益	4,428	4,237	△191	△4.3%
受注高	43,682	43,133	△548	△1.3%
受注残高	28,087	25,801	△2,286	△8.1%

## 主なポイント

- 官公庁向けの複数の外部委託費等の大きい案件の減少に伴う外部委託費減(△69億)を除き実質増収
- アナログ規制改革やデジタル化関連案件、エネルギー、運輸業向けシステム関連等が伸長
- 人材投資や将来成長のための先行投資等に加え、持分法投資収益減等により、減益
- 引き続きアナログ規制改革や民間向け運輸・エネルギー関連案件等の受注は堅調
- 受注残は外部流出分(約22億)除き実質前期比並み確保

# ITサービス(ITS)

【百万円】

	2023年9月期	2024年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	71,663	69,942	△1,720	△2.4%
営業利益	5,232	3,657	△1,574	△30.1%
営業利益率	7.3%	5.2%	△2.1P	
経常利益	5,560	3,909	△1,650	△29.7%
受注高	71,743	72,322	+579	+0.8%
受注残高	47,225	49,605	+2,379	+5.0%

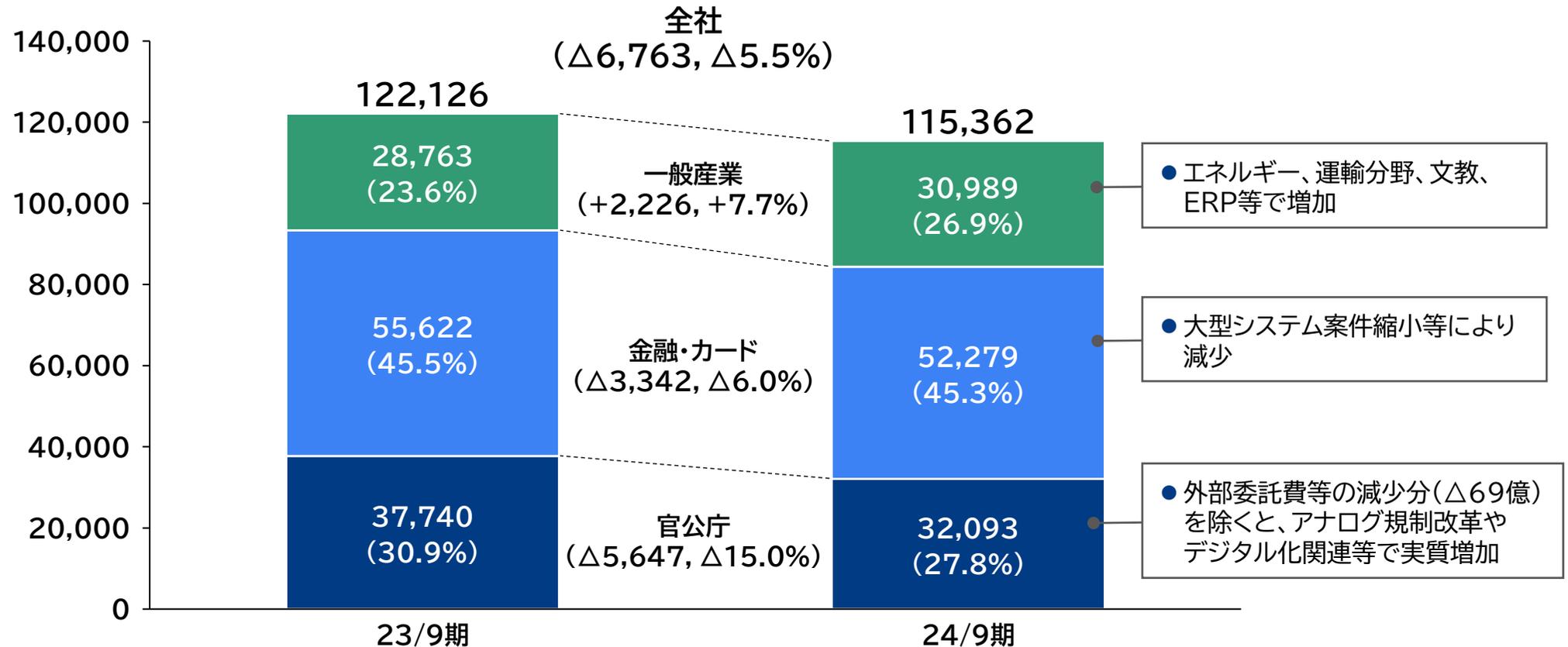
## 主なポイント

- 産業・公共分野のシステム更改案件等は伸長
- 金融・カード分野の大型システム案件等の縮小・利益率低下、期初計画にある先行投資分(システム基盤更改や人材育成、採用強化など)等により減収・減益
- 金融・カード分野や公共分野新規大型案件(システム開発)の積み上げにより、受注・受注残ともに前期比増

## 顧客業種別売上高 <前期比>

- 「一般産業」(+7.7%)増
- 「官公庁」は外部委託費等の減少影響(△69億)を除くと、デジタル規制改革や通信・放送関連等で実質増
- 「金融・カード」は大型システム案件の縮小等により前期比減

【百万円】



## 参考)セグメント別・顧客業種別売上高 <前期比>

【百万円】

		2023年9月期	2024年9月期	前期比	
				増減額	増減率
TTC	官公庁	36,991	31,127	△5,863	△15.9%
	金融・カード	3,165	2,438	△726	△22.9%
	一般産業	10,306	11,853	+1,547	+15.0%
	<b>TTC 計</b>	<b>50,462</b>	<b>45,419</b>	<b>△5,042</b>	<b>△10.0%</b>
ITS	官公庁	749	965	+216	+28.9%
	金融・カード	52,457	49,840	△2,616	△5.0%
	一般産業	18,456	19,136	+679	+3.7%
	<b>ITS 計</b>	<b>71,663</b>	<b>69,942</b>	<b>△1,720</b>	<b>△2.4%</b>
<b>合計</b>		<b>122,126</b>	<b>115,362</b>	<b>△6,763</b>	<b>△5.5%</b>

# 中計2026で設定した事業別の2024年9月期実績

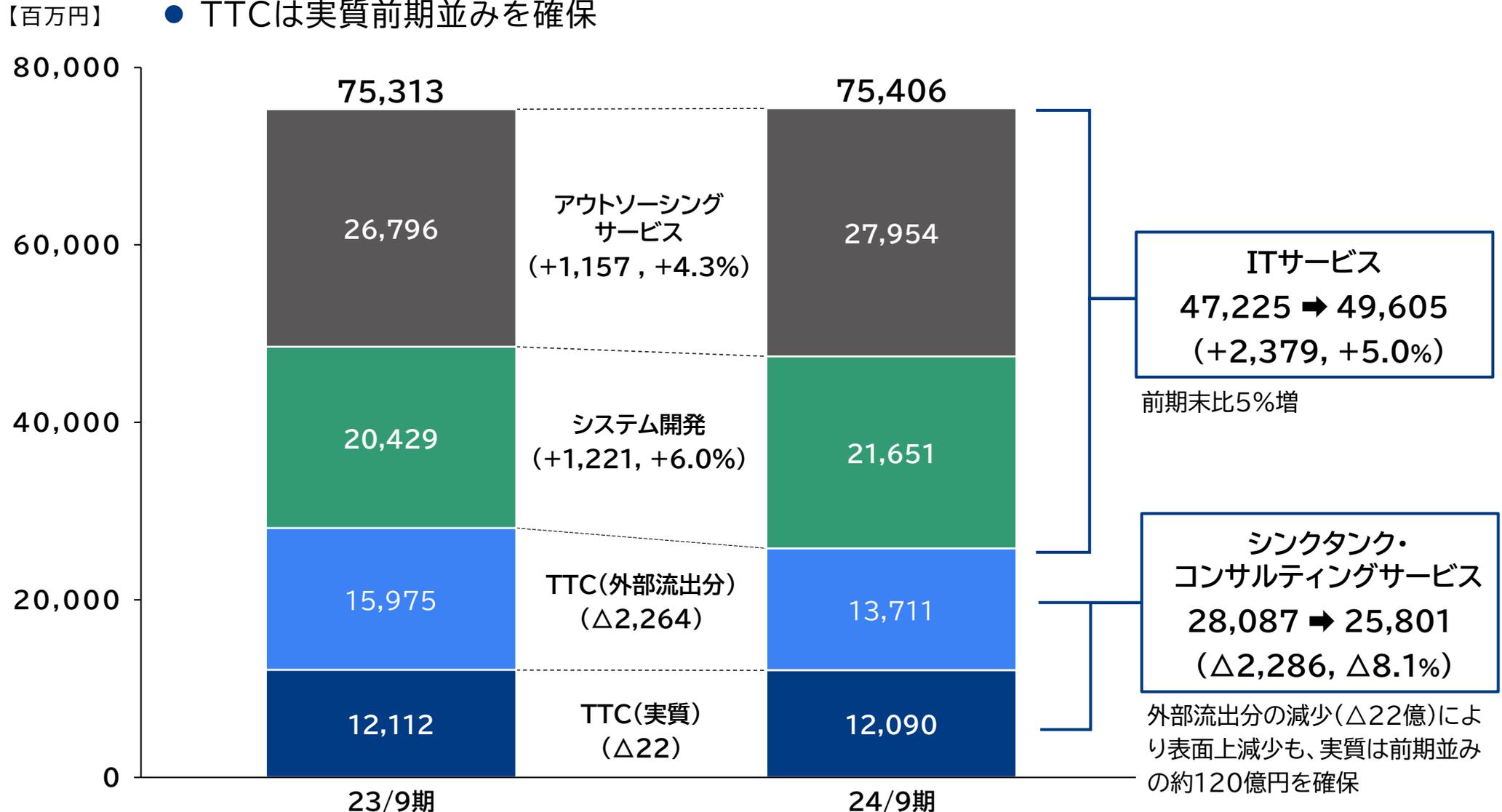
主要事業		24/9期実績	対前期比 (増減率)	対計画比
社会・公共 イノベーション	売上	396億	△55億(△12%)	△4億
	利益	104億	+2億(+2%)	△4億
	利益率	26.5%	+3.7P	△0.9P
デジタル イノベーション	売上	279億	+22億(+9%)	△10億
	利益	75億	+21億(+40%)	+4億
	利益率	27.0%	+6.0P	+2.5P
金融システム イノベーション	売上	487億	△24億(△5%)	△12億
	利益	109億	△17億(△14%)	△12億
	利益率	22.5%	△2.2P	△1.9P

※ 社会・公共イノベーション事業とデジタルイノベーション事業には、一部連携して推進する事業を重複して記載

※ 計数はすべて概数

## (参考) 期末受注残高 < 前期比 >

- ITSは前期比4～6%増の受注残高を確保
- TTCは実質前期並みを確保



1 2024年9月期決算

2 2025年9月期業績予想

3 トピックス

# 2025年9月期 連結業績予想

【百万円】

	2024年 9月期実績	2025年 9月期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	115,362	128,000	+12,637	+11.0%
TTC	45,419	50,000	+4,580	+10.1%
ITS	69,942	78,000	+8,057	+11.5%
営業利益	7,060	8,300	+1,239	+17.5%
営業利益率	6.1%	6.5%	+0.4P	
経常利益	8,147	9,500	+1,352	+16.6%
TTC	4,237	5,300	+1,062	+25.1%
ITS	3,909	4,200	+290	+7.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,003	5,600	+596	+11.9%
1株当たり当期純利益(円)	316.44	355.76	+39.32	+12.4%
ROE	7.5%	8.1%	+0.6P	

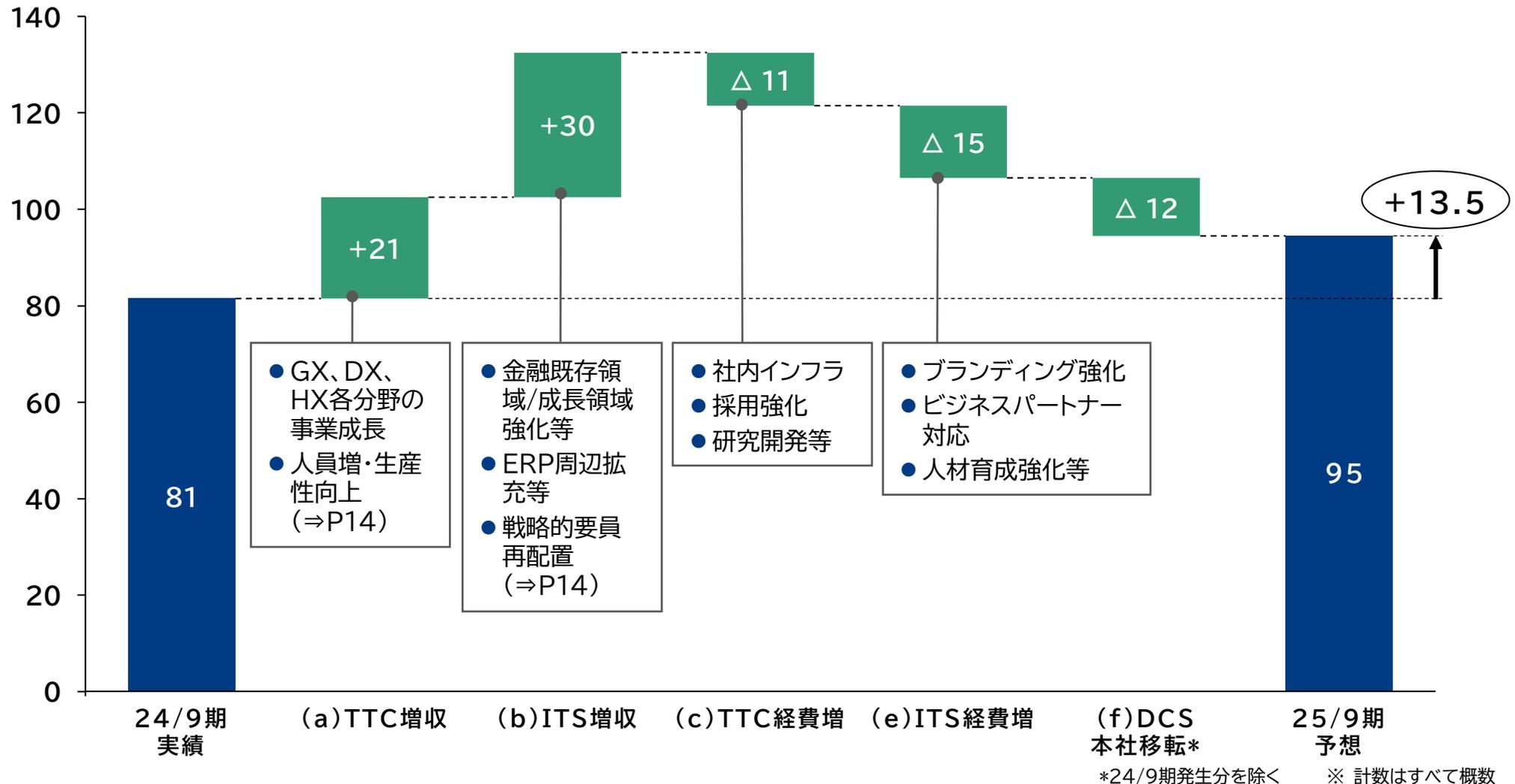
# 事業成長に向けた主な施策

- TTC事業成長
  - GX(グリーン):電力ソリューション、海外案件等
  - DX(デジタル):DXジャーニー<sup>®</sup>(DXコンサルティング)、ビッグデータ解析/AI等
  - HX(ヘルスケア・ヒューマンリソース):人的資本経営コンサル、医療介護ソリューション等
  - 新事業開発における選択と集中【事業計画見直し、迅速な継続・撤退判断】
- ITS事業成長
  - 産業公共分野のERP周辺ソリューション、ビッグデータ関連横展開等
  - 金融・カード分野の新規顧客獲得、新規ビジネスモデル立ち上げ等
- 人材戦略
  - 採用増【増員:TTC 80人超、ITS 100人超】
  - 事業部門人員増(人員再配置、稼働人員増、退職抑制)【TTC 再配置約20人等】
  - 組織的リスクリング、人事制度見直し(シニア活躍等)
- 収益性向上
  - 1人当たり生産性向上  
【TTC シンクタンクDX推進、プライシング政策等で約6%向上、ITS 金融・カード分野でリスクリング】

# 2025年9月期経常利益予想の変動要因

## 連結

【億円】



# 事業別の2025年9月期見通し

主要事業		25/9期計画	対前期比(増減率)	
			25/9期計画	24/9期実績
社会・公共 イノベーション	売上	450億	+54億(+14%)	396億
	利益	120億	+16億(+15%)	104億
	利益率	26.7%	+0.2P	26.5%
デジタル イノベーション	売上	320億	+41億(+15%)	279億
	利益	90億	+15億(+20%)	75億
	利益率	28.1%	+1.1P	27.0%
金融システム イノベーション	売上	540億	+53億(+11%)	487億
	利益	130億	+21億(+19%)	109億
	利益率	24.1%	+1.6P	22.5%

※ 社会・公共イノベーション事業とデジタルイノベーション事業には、一部連携して推進する事業を重複して記載

※ 計数はすべて概数

# 2030年のありたい姿と中計2026の位置づけ(再掲)

## 2030年のありたい姿

- 独自の価値を提供する企業グループ  
～TTCとITSの強みの掛け合わせ
- 売上高2,000億円規模  
～戦略自由度向上・ステークホルダーの信頼と社会での存在感確保

## 中計2026の位置づけ

### 中計2023 【ホップ】

経営理念・価値  
創造プロセスの第一歩  
事業ポートフォリオ改革道半ば

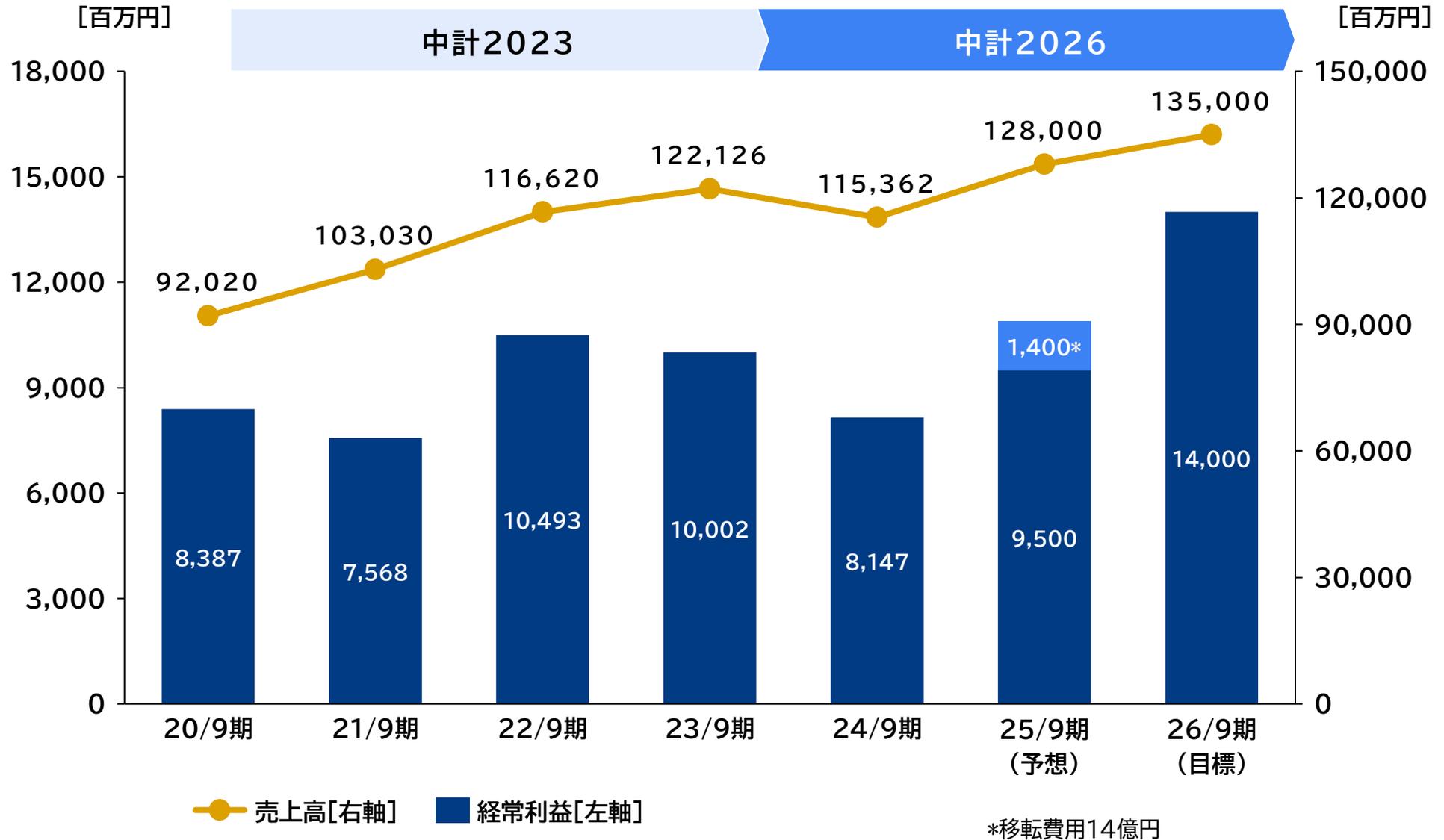
### 中計2026 【ステップ】

「中計2023」方向性強化  
グループ横断の事業領域で  
独自の価値提供モデル構築

### 中計2029 【ジャンプ】

成果発現・刈り取りで飛躍  
領域拡大、収益性向上  
ノン・オーガニック成長成果

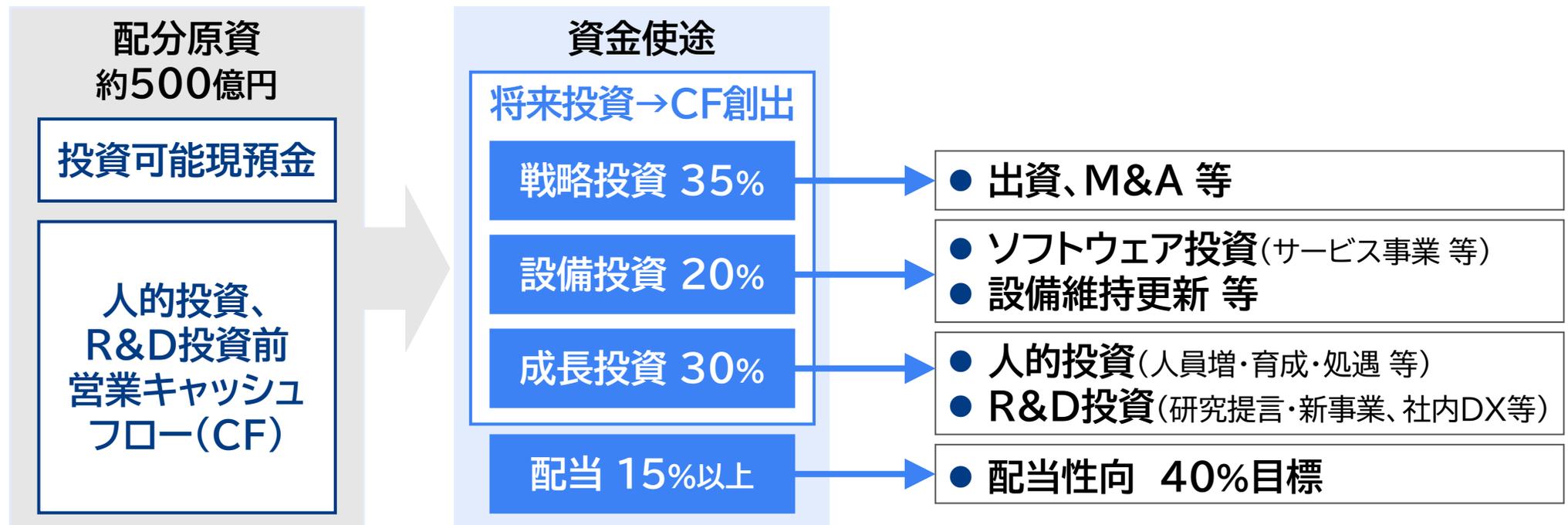
# 売上・経常利益の推移と見通し



## 資本政策(一部追記)

- 配分原資から85%程度を投資に積極活用
  - 【戦略投資】重点領域成長に向けた先進技術・知見・リソースの獲得(出資、M&A等)
  - 【設備投資】経営インフラ、サービス基盤強化(ソフトウェア、設備維持更新等)
  - 【成長投資】人的投資、研究・提言力強化、新事業開発、社内DX等  
増員：約500名超(23年→26年比)
- 安定配当を基本に配当性向40%を目安

※政策保有株式は、一部売却も進め、現在純資産の8%。今後も事業影響を見極め縮減・入替を進める  
 ※現預金は、手元資金として売上高の2~3カ月程度を確保したうえで、その他を将来投資・還元に充当



## 資本政策 ～自己株式消却について (2024/10/30リリース)

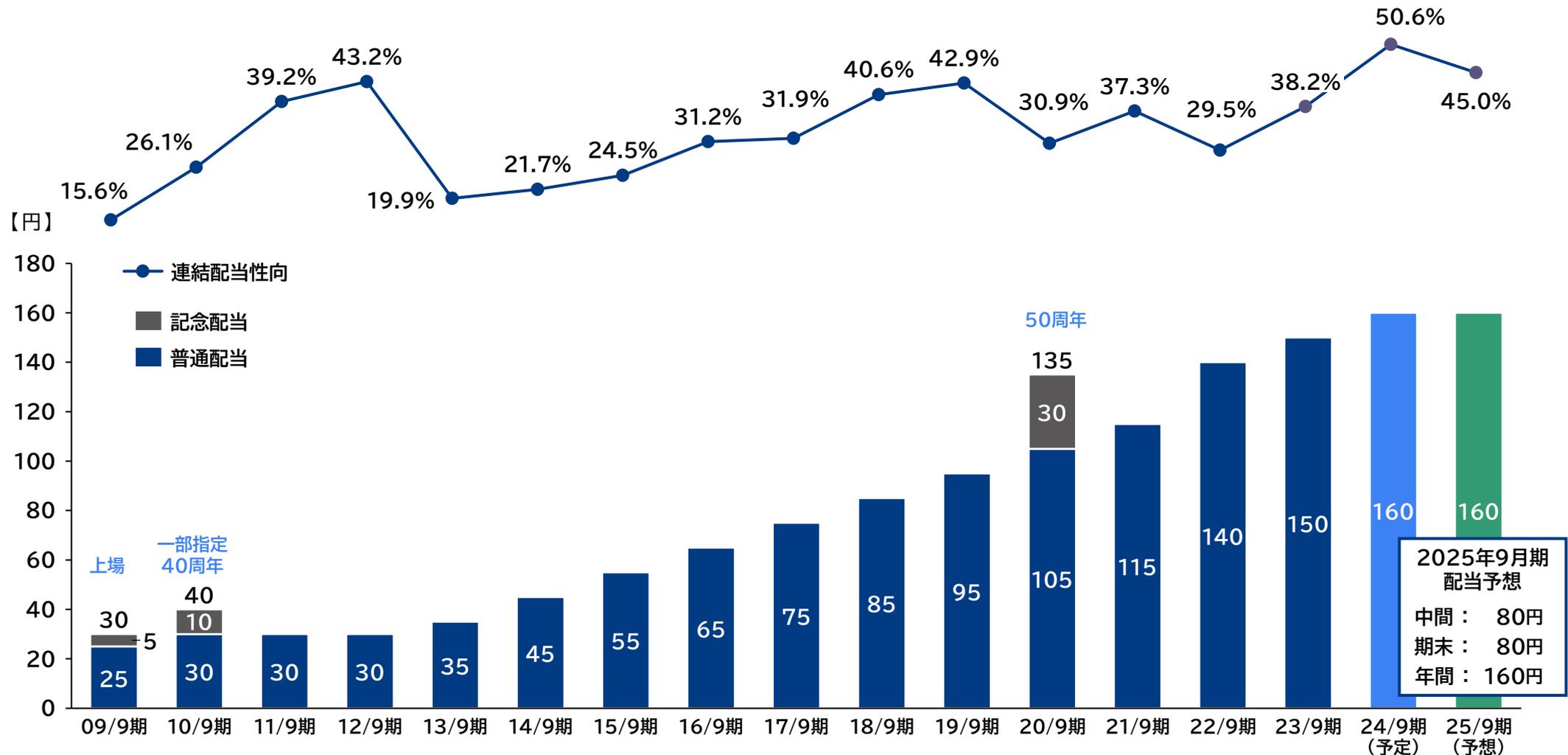
- 2023年2月に取得した自己株式について、取得後1年以上経過するなか、最新の投資機会見直しにおいて株式交換等の具体的な使途が未定のため、消却を決定
- 消却する当社普通株式 380,080株
  - 発行済株式総数に対する割合: 2.31%
  - 消却予定日 : 2024年11月22日
  - 消却後の発行済株式総数 : 16,044,000株
  - 消却後の自己株式数 : 449株

※2024年9月30日現在の自己株式数を基準に算出
- なお、今後の自己株式の取得については、追加的株主還元として資本構成や市場環境、成長投資の機会等を考慮し、実施の是非を判断

# 2025年9月期 配当予想

## 配当方針

継続的な安定配当を基本に、業績や将来の資金需要、財務健全性のバランス等も総合的に勘案し決定。配当性向40%を目安とする。



- 1 2024年9月期決算
- 2 2025年9月期業績予想
- 3 トピックス

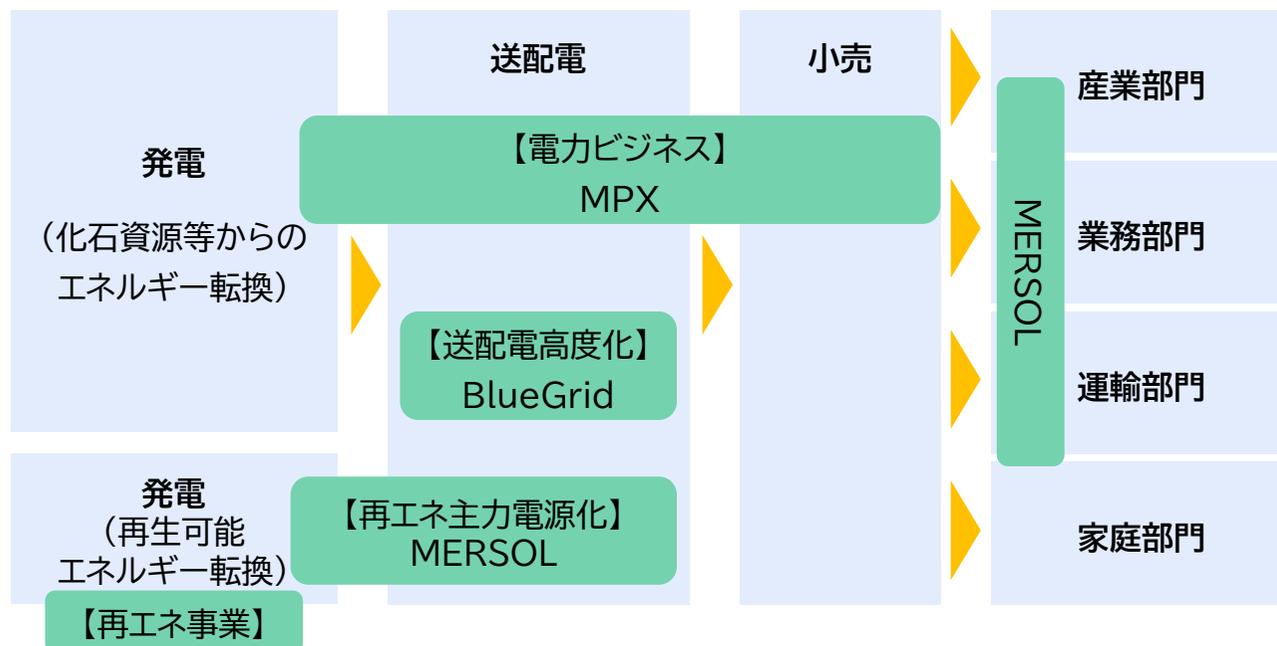
## トピックス： エネルギー関連サービス

### 1)MPX

- 16/9期提供開始、22/9期に分社化、電力取引やリスクマネジメントのための情報サービスなど
- 電力取引の価格指標・市場価格予測の配信サービス主力、同分野の国内トップの実績
- 契約社数は約100社、売上高は年率約25%で成長(直近3期)

### 2)MERSOL

- 23/9期提供開始、蓄電池事業者向けの事業性評価サービス(Simulations)や蓄電池運用支援サービス(Operations)など、Simulationsは黒字化



### 3)BlueGrid

- 一般送配電事業者向け長期需要予測サービスを提供
- 受注実績積み重ね黒字化

### 4)再エネ事業

- 自社太陽光発電所の開発・運営、Zエネルギーへの出資
- ノウハウを生かした再エネ事業のアセットマネジメント(AM)サービス
- 自社4件、AMサービス5件

# トピックス： TDSEとの業務提携(AI・ビッグデータ活用)

(24/10/30 リリース)

- **TDSE**®は、AIノウハウを軸としたコンサルティング/プロダクト事業を展開中
- 生成AI事業、AI・ビッグデータ(AI/DA)ノウハウを軸としたコンサルティングサービスや、関連するソリューションの共同展開、営業連携を進める
- **【生成AI】**
  - 相互連携で事業立ち上げをスピードアップ
  - 両社の既存サービスを組み合わせ、新サービスを創出
  - 生成AI分野の新技术情報共有と相互検証、研究開発面でも協働し新サービス創出を加速
    - MRI:「**ララサポ**」\*®をはじめとするAIソリューション・サービスを展開・強化中
    - TDSE: AI技術を軸としたプロダクト事業を確立させ2029年3月期に売上10億以上を目指す
- **【AI/DAノウハウを軸としたコンサルティングサービス】**
  - 拡大・多様化する顧客のDX推進ニーズに対応し、相互連携による高付加価値化、リソース供給の弾力化を進め、共同で顧客開拓目指す
- 11月に具体的な協働開始(共同提案含む)



左:TDSE東垣社長、右:MRI伊藤専務

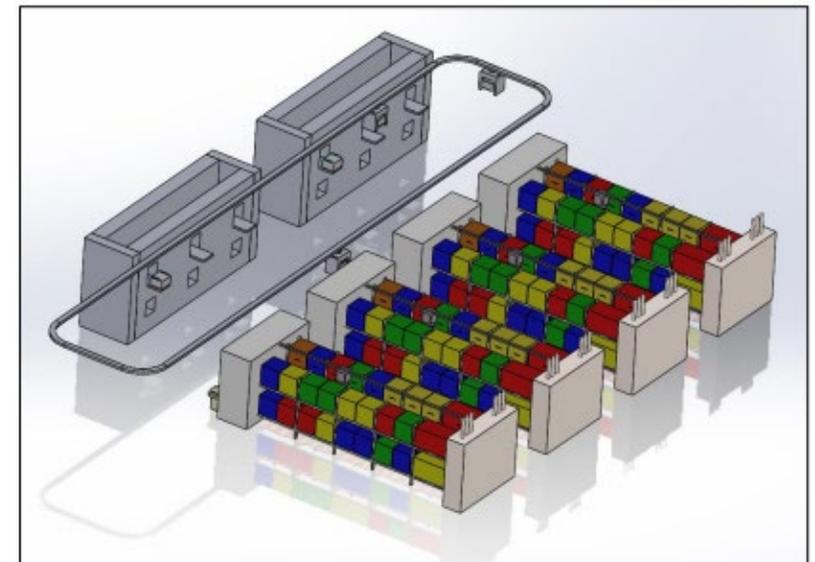
※ 生成AI技術の安全・迅速な導入を支援するサービスラインナップの総称。  
主に企業の企画・営業・専門技術職等のナレッジワーカー向けサービスで構成

# トピックス:半導体後工程自動化・標準化技術研究組合 設立に参画

(24/5/7 リリース)

- 半導体の後工程の革新および完全自動化が目的、組合の略称は「SATAS」
- 以下をよりサステナブルに実現するため、半導体製造の後工程工場における自動化が急務
  - 様々な地政学的リスクを踏まえた、より強靱なサプライチェーンの構築に向けた柔軟な対応
  - AI 時代に向けた、半導体の更なる微細化技術、より高度なパッケージング技術の進化
- 後工程の自動化に必要な技術・オープンな業界標準仕様の作成、装置の開発・実装、統合されたパイロットラインでの装置の動作検証を行い、2028 年の実用化を目指す
- 企業・メディア等からの取材10件、入会等問合せ27件
- 設立時の参加15社に加え、以下の企業・団体が新たに加入  
 国立研究開発法人産業技術総合研究所、アオイ電子株式会社  
 TDK株式会社、Intel Corporation、化研テック株式会社  
 ミナミ株式会社、伯東株式会社
- MRIはSATASの組織運営および事業推進を支援
- 本部をMRI内に設置、理事1名がMRIの担当本部長

半導体後工程自動化パイロットラインのイメージ



出所: SATASリリース(2024/5/7)

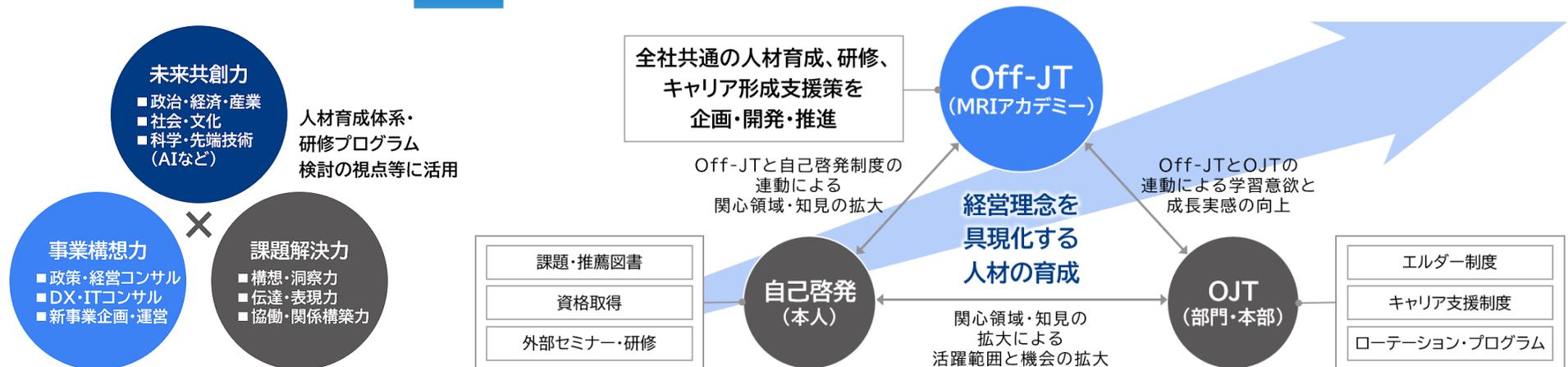
HX

# トピックス： 人的資本経営の取り組み例(MRIアカデミー)

(24/3/27リリース)

- 2024年4月設置、経営理念を具現化する人材を育成
- 人員規模の増大、人材の多様化に応じた、計画的かつ継続的な育成・キャリア形成支援
  - 実績：研修合計時間 389時間(前期比127%)
- 今期(25/9期)の計画
  - 教育研修の質量充実は継続(質の向上に重点)
  - 採用連携(新卒・キャリア)、リスキリング、キャリアデザイン等、全社的観点での育成施策を強化

## MRIアカデミー



経営理念を具現化する人材～3つの育成視点

三位一体での育成

# トピックス: 主な提言・研究活動とその後の動き(24/9期)・1

提言テーマ  
(発表日)

概要とその後の動き

社会課題  
(2023/10/18)

- イノベーションによって解決が期待される社会課題リストの2023年度版
  - 小冊子版(日・英)を地域懇談会や海外イベントで配布
  - 高校の探求学習などでも活用
  - 2024年度版を2025年初にリリース予定

エネルギー  
(2024/4/25)

- 日本の洋上風力ポテンシャル海域に関する分析結果
  - 企業、メディア等からの問い合わせ12件

エネルギー  
(2024/6/5)

- 第7次エネルギー基本計画で求められるカーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーの政策融合
  - 東京大学グローバル・コモンズ・センター、ASEAN Centre for Energyなどの外部機関と連携、研究成果を発表
    - 東京大学と共同で「持続可能な燃料」レポートを公表(2024.9.27)
    - 三菱総合研究所との共同研究成果をASEAN Centre for Energyが公表(2024.10.2)

# トピックス: 主な提言・研究活動とその後の動き(24/9期)・2

提言テーマ (発表日)	概要とその後の動き
<b>サステナビリティ</b> (2024/7/1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サステナビリティ情報開示の要点と実践             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「<u>企業価値を最大化するサステナビリティ経営</u>」について「MRIオピニオン」(当社Webマガジン)で発信</li> <li>- 「サステナビリティ情報開示の最前線」をテーマにセミナー開催予定</li> </ul> </li> </ul>
<b>DX(AI)・エネルギー</b> (2024/8/28) 1・2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1)生成AIの普及による日本の電力需要への影響             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 関連省庁、民間企業より意見交換の申し入れ、講演依頼(7件)</li> <li>- TV出演等メディア掲載・報道(8件)</li> <li>- 生成AI需要に対応した通信・電力インフラの最適化について提言予定</li> </ul> </li> <li>● 2)生成AIの信頼性確保で21兆円の付加価値創出             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 関連省庁との意見交換、メディア取材対応(計3件)</li> <li>- エージェントAIの進化が社会にもたらす影響について提言予定</li> </ul> </li> </ul>
<b>DX</b> (2024/5/28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本企業のDX推進状況調査結果             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 経営戦略とDXの連動や外部環境への柔軟な対応体制等、先進企業の傾向を発表</li> <li>- 日経クロステック等で報道、メディア主催イベントでの講演(ガスエネルギー新聞、日本金融新聞社等)</li> <li>- 調査結果を活用し当社イベント「DX DAY」開催(参加1,000名超)</li> </ul> </li> </ul>

# トピックス: 主な提言・研究活動とその後の動き(24/9期)・3

提言テーマ  
(発表日)

概要とその後の動き

食・農

(2024/7/31) 1・2

- 食料安全保障の長期ビジョン／食農分野の環境負荷低減
  - 23/9期から提言実施、今後も継続的にアップデート予定
  - 関連受注3件、関連TV出演4件、メディア引用11件

社会保障

(2024/6/14)

- 2040年問題を克服するための「自律的な医療介護システム」
  - 医療介護制度改革の具体案を提言し、改革効果や財政へのインパクトを推計さらに国民の社会保障制度改革への意識や受容性も検証
  - 日本経済新聞・NHK等のメディアで報道されたほか、官公庁・経済団体等から意見交換申し入れ

人材

(2024/9/4)

- ジョブ型人事導入へのロードマップ
  - 日本の労働市場の活性化に不可欠な「職の共通言語」をいかに整備していくか、官民が採るべき具体策を提言
  - 関連省庁・民間(人材サービス業)から意見交換申し入れ

## トピック: 主なパートナー連携に係る動き

- 24/9期中にリリースした主な連携案件のその後の動き

<p>サイバー大学 (<a href="#">2024/2/13</a>)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル・DX人材育成で業務提携検討           <ul style="list-style-type: none"> <li>- サイバー大学・MRI両社の強みを生かし、デジタル・DX、イノベーション、GX分野の人材確保につながる企業向け実践型人材育成パッケージの共同開発を推進</li> <li>- 2025年度に実証開始予定</li> </ul> </li> </ul>
<p>TOWING (<a href="#">2024/3/21</a>)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未利用バイオマスから土壌改良用の高機能バイオ炭「宙炭(そらたん)」を作り、里芋を育てる圃場実証           <ul style="list-style-type: none"> <li>- 収量約12%UP、+1.3[t-CO<sub>2</sub>]相当のCO<sub>2</sub>吸収の効果</li> <li>- 結果概要を2024年内めどに公開予定</li> </ul> </li> </ul>
<p>大和エネルギー (<a href="#">2024/4/3</a>)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再エネ併設型蓄電池事業の共同運用           <ul style="list-style-type: none"> <li>- 4月のサービスイン後、順調に稼働中</li> <li>- 第2号案件を検討中</li> </ul> </li> </ul>
<p>プラスアルファ コンサルティング (<a href="#">2024/7/3</a>)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人的資本経営に関する包括的業務提携           <ul style="list-style-type: none"> <li>- 製造業向けセミナー「<u>製造業における人材マネジメントのあり方</u>」を共催(参加146名)(2024/8/2)</li> </ul> </li> </ul>

## トピック:最近のリリース

日付	件名
【社会・公共イノベーション事業関連】	
2024.10.24	医療系スタートアップの海外展開促進プログラムを開始
2024.10.16	「スポーツ×ウェルビーイング」に係る研究を推進
2024.10.7	衛星画像を用いた島しょの変化検知に成功
2024.9.26	環境省「ワイヤレス充電の実証および導入ガイドライン作成事業」を受託
2024.9.20	当社主催の日本CTX研究会、「日本におけるDCT普及に向けた提言」を公開
2024.9.12	山陰合同銀行とさんいんウォレットを活用した提案により出雲市デジタル地域通貨事業を受託
2024.8.28	企業1万社を対象に働きがいに関する実態調査を実施
2024.7.30	NEDO公募「経済安全保障重要技術育成プログラム」における「HAPSによるリモートセンシングを用いたMDAシステムと運航管理技術の開発・実証」プロジェクトの採択について

## トピック:最近のリリース

日付	件名
【デジタルイノベーション事業関連】	
2024.10.30	三菱総合研究所とTDSE、AI・ビッグデータ活用領域で業務提携
2024.9.26	顧客ロイヤルティ向上を実現する新コンサルティングメニュー「LTVマーケティング」を提供開始
2024.8.29	【三菱総研DCS】クイックコンサルティングと安心のサポートでAWSをムダなく使える「AWSコスト最適化サービス」を提供開始
2024.8.5	生成AIで自由記述式アンケートを自動分析、手動の1/10の時短を実現
2024.8.1	「デジタル社会の実現に向けた包括連携協定」を5者で締結

## トピック:最近のリリース

日付	件名
【シンクタンク事業(提言・発信)】【海外事業等】	
2024.10.28	<u>三菱総研グループがEXPOスクールキャラバン事業に参画</u>
2024.10.9	<u>【提言】サステナビリティ経営が高める日本のウェルビーイング</u>
2024.10.2	<u>三菱総合研究所との共同研究成果をASEAN Centre for Energyが公表</u>
2024.9.27	<u>東京大学と共同で「持続可能な燃料」レポートを公表</u>
2024.9.4	<u>【提言】日本のジョブ型人事導入に向けたロードマップ</u>
2024.8.28	<u>【提言】生成AIの普及が与える日本の電力需要への影響</u>
2024.8.28	<u>【提言】信頼ある生成AIの利活用に向けて</u>
2024.7.31	<u>【提言】食農分野の環境負荷低減 対策の価値を還元する仕組みを</u>
2024.7.31	<u>【提言】食料安全保障の長期ビジョン 2050年・日本の農業が目指すべき状態</u>
2024.7.31	<u>「第6回プラチナキャリア・アワード」受賞者決定</u>

## トピック:最近のリリース

日付	件名
その他のリリース	
2024.10.10	三菱総研DCS 九州支社 新オフィスを開設
2024.10.2	JBS と Veeam、障害からの回復力が高いデータ保護ソリューションの提供に向け協業強化
2024.9.26	【JBS】どこにいてもオフィス電話の発着信が可能となる「Connex Module」をリリース
2024.8.22	【JBS】「2024年度全国選抜小学生プログラミング大会」に協賛
2024.7.31	【JBS】「マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤー」4冠達成、12年連続受賞
2024.7.31	【JBS】グループ総勢 18名が「Microsoft Top Partner Engineer Award」受賞
2024.7.30	【JBS】「Copilot for Microsoft 365」の基本操作からプロンプト作成方法まで学べる eラーニングをリリース
2024.7.24	【三菱総研DCS】BS朝日「つながる絵本 for SDGs」番組にて「ロボットプログラミング入門」授業が紹介

## 将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

- 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

グループ経営企画部 IR室

E-mail : [ir-info@ml.mri.co.jp](mailto:ir-info@ml.mri.co.jp)

URL : [www.mri.co.jp/](http://www.mri.co.jp/)

未来を問い続け、変革を先駆ける

**MRI** 三菱総合研究所